

平成25年4月1日  
第92号  
(毎月1日発行)  
中津川市  
山口総合事務所  
(0573)75-2126



## 「馬籠団地」入居開始

馬籠地域の要望により建設しておりましたUIターナー者用住宅「馬籠団地」が完成し、入居が始まりました。



入居者説明会の様子

この「馬籠団地」は町3町内会に属して地域活動に参加できます。また、入居して5年以内に山口・馬籠地区へ定住していただくことになっていただきますので、地域の皆さんでサポートをお願いします。



## 消火栓取扱講習会開催

3月16日(土)馬籠ふるさと学校で馬籠地域住民が多数参加し、消火栓取扱講習会が行なわれました。

消防職員による消火栓の取扱説明のあと、消火栓を使った放水訓練を行いました。

参加された皆さんは大切な命、ご家族、お住まい、馬籠の街並みを自らの手で守るために、真剣に取り組まれました。日頃から防火意識を高め、火災から身を守りましょう。



## 県芸術文化顕彰受賞

藤村記念館長の鈴木さん



藤村記念館長の鈴木昭一さん(奈良県大和郡山田市)が、平成24年度岐阜県芸術文化顕彰を受賞されました。この賞は芸術文化の各分野で優れた業績をあげた個人や団体を顕彰するもので、文学の分野において鳥崎藤村に関する研究や講演活動を行い、それらによって地域文化の振興に貢献したことが認められ受賞されました。

3月15日(金)、岐阜県庁で表彰式が行われ、受賞者一人ひとりに県知事から表彰状と記念品が授与されました。鈴木さんは「藤村の研究を重ねたことがこころした表彰につながったことは存外の栄誉」と喜びを語っていました。

## 山口小 心の旅路館で学習

3月12日(火)、東山魁夷心の旅路館に山口小学校6年生7名が見学に来ました。

はじめに東山魁夷画伯と旧山口村との縁を学習したのち、現在展示中の「冬華」(リトグラフ)など30作品をじっくり見学しました。

今後も、市内の小中学生が来館し、東山魁夷画伯の作品に触れていただく機会が増えることを願います。



3月29日(金)から、平成25年度第1期展「春の輝き」と題して、桜の景色から初夏を感じる作品の展示を行いますので、ぜひお出掛けください。

## 第6町内会で交通安全教室

3月14日(木)第6町内会「げんきかい」で交通安全教室が開催されました。

市の交通安全指導員から、反射材の有効性や自宅付近で事故に遭う方が多いこと、道を渡るときに注意すること等の説明があり、参加した方からは「長い間、車を運転していますが、こんな機会はないな」といった感想が聞かれました。



## 春の全国交通安全県民運動

4月6日(土)～4月15日(月)

温かくなるこの時期は、外出する機会が増えてきます。一人ひとりが交通事故に注意して行動し、交通事故をなくしましょう。

『4月10日(水)は交通事故ゼロをめざす日です』



## 国道19号歩道整備について

24年度 国土交通省により国道19号の新製込に歩道が整備されました。

山口地域にはまだまだ歩道の無い箇所や狭い箇所があり、現在、吾妻屋バス停周辺及び、山口総合事務所下バス停周辺について、国土交通省と市、区長会や地域づくり協議会、交通安全協会、青少年健全育成推進市民会議により、合同点検や整備検討会を開催して実施に向けた計画を進めています。計画が具体化した時点で、改めてかわら版などでお知らせします。



## 毎月第3日曜日は

### 『家庭の日』です

岐阜県では、心豊かで明るく自立した青少年を育む開かれた「家庭」づくりを目指し、毎月第3日曜日を家庭の日と定めています。



## 山口・馬籠 4月行事予定表

【山口公】山口公民館 【あおぞら】坂下健康福祉会館「あおぞら」

日・曜日	行	事
9 火	9:45 乳幼児なんでも相談【あおぞら】	
10 水	13:30 ふれあい教室【4区集会所】	
11 木	13:30 ふれあい教室【6区集会所】	
12 金	10:00 行政相談【山口公】 10:00 ふれあい教室【上の原集会所】 13:30 ふれあい教室【峠研修センター】	
17 水	13:00 2歳児歯科検診【あおぞら】	
22 木	13:30 人権相談【山口公】	
23 火	13:30 ふれあい教室【5区集会所】	
24 水	13:00 3ヶ月児健診【あおぞら】	
25 木	9:45 乳幼児なんでも相談【山口公】	

- 【可燃ごみ】 毎週 月・木 曜日
- 【不燃ごみ】 3日(水)
- 【有害ごみ】 24日(水)
- 【資源・硬質ごみ】 22日(月)
- 【大型ごみ】 23日(火)※事前予約必要



## 山口地区の人口と世帯数 (3月1日現在)

人口 1,839人 (前月比 -6)  
男 884人 女 955人  
世帯数 643世帯



## 協力隊だより 植田 晶

地域の自然や文化の情報発信の場として、また、コミュニティ活性化の場として、観光を有効に利用しようという動きは、すでに各地の地域づくりの潮流となっています。

一方、観光も、団体客の減少とニーズの多様化の中で、自然や文化を体験するプログラム、その地域ならではの特産品や食が見直されています。

馬籠では、観光を地域づくりにつなげる試みはこれからです。観光関係者も地域や外部との連携にもっと積極的であってよいと感じます。協力隊は、「地域づくりのための観光」のため、活動していきます。

Facebook

<http://www.facebook.com/magome.okoshi>

E-mail [magome.okoshi@gmail.com](mailto:magome.okoshi@gmail.com)

